

- (1) "明るく感じがよい"スタッフ・お店であること
- (2) お客さまのお役にたつこと
- (3) チームワークを大切にすること

14

BASICS (1) 明るく感じがよいスタッフ・お店とは?



勢

感じがよいのはどちらでしょう?



きれいな姿勢で、きびきびと行動しましょう。

身だしなみ

清潔感と動きやすさが大切です。

- □ 髪が長い人はまとめましょう
- □ メイクはナチュラルに
- □ 派手な爪・長い爪はNG
- □ 名札はかならずつけましょう
- □ アクセサリーは大きなもの・目立つものはNG
- □ ユニフォームの汚れ・ほつれ・だらしない 着こなしはNG

BASICS (1) 明るく感じがよいスタッフ・お店とは?



いらっしゃいませ

お客さまが来店したら必ずお顔を見て笑顔で言いましょう。 「いってらっしゃい」「こんにちは」「お疲れさまです」も KeyPoint らしくて Good!

かしこまりました

お待ちください

お待たせしました

申し訳ございません

ありがとうございました

お買い上げがなくても、お帰りのときには「(お越しいただいて)ありがとうございました」という気持ちを伝えよう。

またぜひお越しください

20

BASICS (2) お客さまのお役にたつには?

お客さま最優先

お客さまが店内にいらっしゃるときには

- 作業をしながらでよいので、意識はお客さまに向けておきましょう。
- ・ 作業に集中しすぎず、意識の中でお客さま を優先に。
- ・ お客さまのお役にたてる時は、作業中の手を 止めて小走りでお客さまのもとへ。

44

BASICS (2) お客さまのお役にたつには?



お客さまが、つい話したくなってしまうような聴き方をこころがけましょう。

- ① あいずちを打つ
 - ・うなずく
 - 「はい」「ええ」「なるほど」
 - ・ お客様の言葉をくり返す

たとえば… お客さま:「ぴったりしたのはイヤなんだ」

スタッフ:「ぴったりしていない方がいいんですね」

- ② 視 線
 - 身体をお客さまの方にむける
 - お顔を見る

- ③ 表 情
 - ・ 話の内容に合った表情で

まじめなお話はまじめな表情で 楽しいお話は笑顔で

BASICS (3) チームワークを大切にするには?

報告・連絡・相談

たがいにフォローしあうために、こまやかに 報告・連絡・相談をしましょう。

お客さまに対しても同じことに気をつけましょう。

① 報 告

仕事の結果を伝えること。

- 仕事の指示をした人に直接伝える
- 聞かれる前に報告する
- やり終えるまでに時間がかかるときは途中で 状況を報告する
- よくない報告ほど早く報告する

② 連 絡

「知っておいてもらう」ために伝えること。

- 「細かいことだから」「めんどうだから」と勝手 に省略しない
- もれのないよう、確実に伝える

③ 相 談

「困っていること」「わからないこと」をそのままにせず、解決するために話すこと。

- 早めに相談する
- 適切な人に相談する
- ・ 何度も同じことを相談しないよう、メモしておく

Top Message

■■■■ BASICS を通じて 伝えたかったこと



お客さまを知ろう

私たちのお客さまは職種、現場、体格、年齢などがそれぞれ 異なるプロフェッショナルの方々です。

もちろん、求められる商品やサービスも一人ひとり ちがいます。

どんなものをお探しなのか、 どんな場所でお使いになるか、 どんなことに困っているのか、 お客さまの意向を細かくお聞きしましょう。

そして、一人ひとりにあった細かな気くばり、 正確な商品の説明、サービスの提供を心がけましょう。

ご縁を大事にしよう

はじめは「たまたま寄っただけ」と言われるお客さま が多いでしょう。

それでも数多いお店の中からそのときえらんでいただいた ご縁を大切にしましょう。

地域の働く人たちのお役に立つことが私たちの使命。 どのようお役に立てるかを真剣に考え行動しましょう。

その姿勢は必ずお客さまに伝わり、「また来たいな」 と思っていただけるようになるのです。 その積み重ねがお客さまとの絆を育てます。